

ABI/SPP 導入後の経過と医療連携

(医) 豊済会 境南クリニック

○星野恵 岡美穂 倉鍵侑一郎 菊地幸奈 井上宙哉

【はじめに】

- ・2016 年度診療報酬改定で「下肢末梢動脈疾患指導管理加算」が新設された。人工透析患者の下肢末梢動脈疾患の重症化予防を適切に評価することで、早期発見・早期治療につなげる事を目指した。
- ・透析患者の足病有病率は高く、糖尿病末梢神経障害や血管石灰化などにより、絶えず日々繰り返されている現状がある。この為、慢性創傷や下肢切断などに至らないよう日頃のフットケアを継続することが重要だと考えている。

【当院で行っているフットケア】

- ・ABI/SPP 測定 (カットオフ値 ABI:0.9/SPP:50)
値により年に 1 回、半年に 1 回、3 か月に 1 回測定を変更。血流障害の疑いがあれば、即基幹病院へ紹介。
- ・フットチェック
ABI/SPP の値により、リスク分類で週 1 回～月 1 回の観察。
- ・創傷処置
透析毎、家族や訪問看護、訪問診療所。

【目的】

- ・2015 年に ABI 測定目的でオムロン株式会社血圧脈波検査装置 BP-203RPEIII、2016 年に SPP 測定目的で株式会社カネカメディックス PAD4000 を購入し、全患者の測定を目標に誕生月に検査を開始。
- ・検査件数と結果を客観的に評価し、PAD 患者をどのくらい基幹病院と医療連携ができたのか調査。
- ・医療連携において基幹病院で血管内治療を行い、患者の切断を最小限に抑えられた症例を紹介。

【対象】

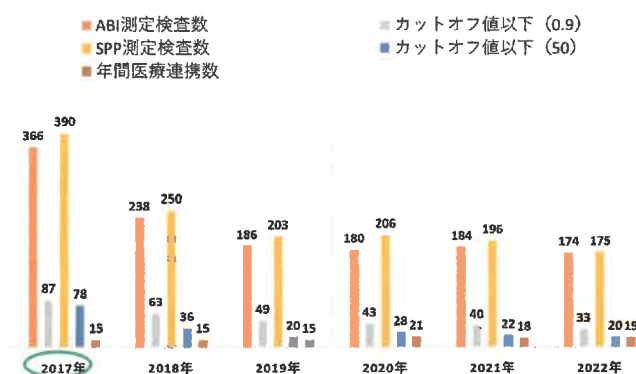
- ・2017 年 4 月から 2022 年 3 月までに ABI/SPP 測定を行った患者。
- ・この間、大切断患者は在籍しない為、両足測定結果であるが、不随意運動や、測定困難、測定拒否の患者は数に含まれない。
- ・足病患者の医療連携は多種あるが、今回は PAD のみの紹介を対象。

【方法】

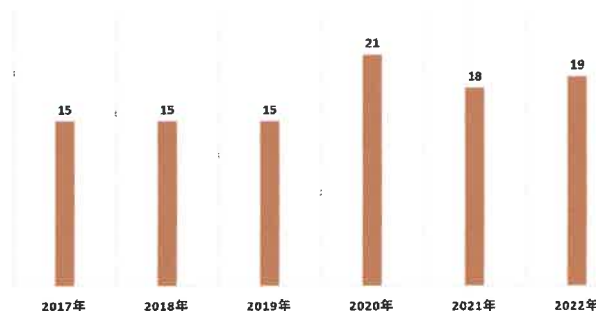
- ・透析による末梢血管の血流変化を最小限とするため室内環境は 26～28℃に保ち、透析開始 30 分以内に検査。
- ・SPP 測定部位は第 2 中足骨部裏。胼胝などにより測定に適さない場合は位置をずらす。
- ・カットオフ値は、ABI：0.9/SPP：50mmHg
2017 年 4 月から 2022 年 3 月までの診療情報提供書一覧から PAD 紹介のみを抜粋。

【結果及び考察】

ABI/SPP検査結果と医療連携数



年間医療連携数(PAD紹介件数)



2017年の検査数が多かったのは、検査が始まったばかりで、全患者の検査を目標にしていたため。その後リスク分類を行い、3か月～年1回と定めた事により、検査件数が減少したと考える。また、2018年以降、検査数の差が無かったのは、定期的に検査ができていたからだと感じる。2020年から医療連携数が増したのは、地域の訪問診療のとの連携から、PAD疑いで、血管内治療を行う回数も増えた事だった。この連携により、2021年では小切断が2件、2022年では1件あった。

継続したフットケアや連携が無ければ、大切断に至っていた可能性もある。この間の在籍患者数は89～67人でPAD紹介は16.9～28.4%。早期発見、早期治療を考えると十分ではないと感じるが、紹介を行っても実際に侵襲のある治療を望まない患者も多くある。

次に医療連携を行った症例を御紹介する。

【症例】

症例

糖尿病性腎症 透析歴10年 女性

- ・20XX年3月に左第5趾を打撲して痛みが続いていると訴え。
- ・水泡が破れ一部黒色に変化。翌日A病院のフットケア外来へ紹介受診。
- ・発症約1か月後、A病院にて左第5趾壊疽を認め感染コントロール目的でMTP関節離断施行。
この頃のABI：右1.08 左0.79 SPP：右98 左112



- ・離断術約1か月後、B病院にて左下肢の血管内治療（EVT）。浅大腿動脈遠位部90%狭窄、前後脛骨動脈閉塞及び腓骨動脈高度狭窄を認める。
- ・EVT後A病院に転院。この頃のABI 右1.29 左1.33
- ・A病院のフォロー約2か月。創部の不良肉芽が続きB病院へ入院。



- ・B病院にて EVT施行、高気圧酸素療法14回、レオカーナ治療9回、陰圧閉鎖療法。入院中もCD,MRSAあり抗生剤等継続。約1ヵ月後退院する。（写真は退院後）

最新のABI：右0.65、左0.84 SPP：右75、左84



【まとめ】

- ・透析患者の足病有病率は高く、絶えず繰り返される。
- ・適切な透析療法や血糖管理の中、定期的に下肢血流検査とケアを継続する事が早期発見、早期治療につながる。
- ・医療連携により下肢の血流を保ち、通院できる足を守る事が重要。